

あづちもちよま
安土桃山時代

1600年

せきがはら とうぐんせいぐん じん せられる
関ヶ原、東軍西軍 1600



現在の(1)県で、後に「天下分け目の戦い」とよばれる関ヶ原の戦いがありました。

徳川家康が、豊臣の家臣の(2…人名)を破った戦いです。(2)とは、ものさしの長さや枡の大きさなどが統一された検地のときに活躍した人物です。この戦いは、西軍の豊臣方が有利な布陣をして負けるはずがないといわれた戦いでした。にもかかわらず豊臣方が負けてしまった理由を答えなさい。…(記述 1…秀吉にかわいがられていた武将の福島正則・加藤清正・黒田長政・細川忠興なども徳川方についています。)

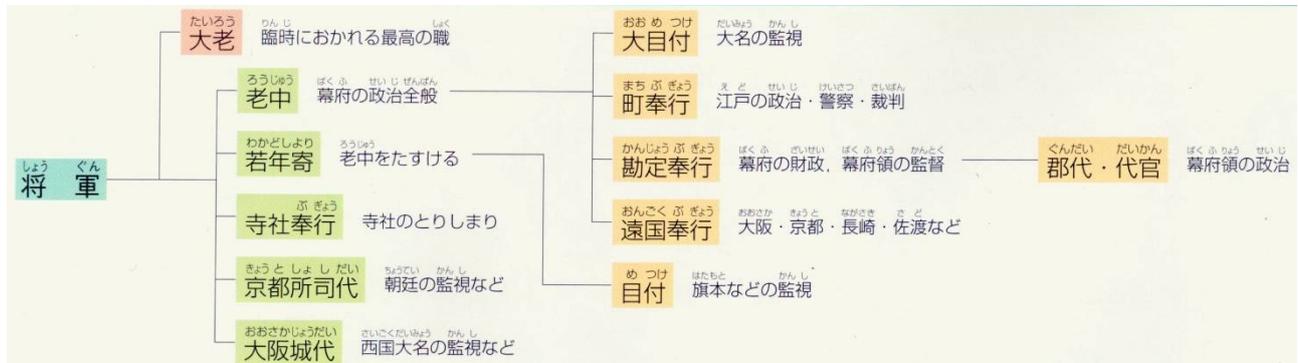


江戸時代

(3…年)、家康は、徳川幕府の1603

徳川家康は征夷大将軍になって、江戸(現在の東京)幕府を開きました。徳川政権は、第15代将軍徳川慶喜による大政奉還まで、約(4…10)の位までの概数で年間も続きます。平安時代の平清盛が20年、鎌倉時代が約140年、室町時代は約240年ですが3代将軍より後は名ばかりになっています。秀吉の時代もほぼ15年間ほどです。

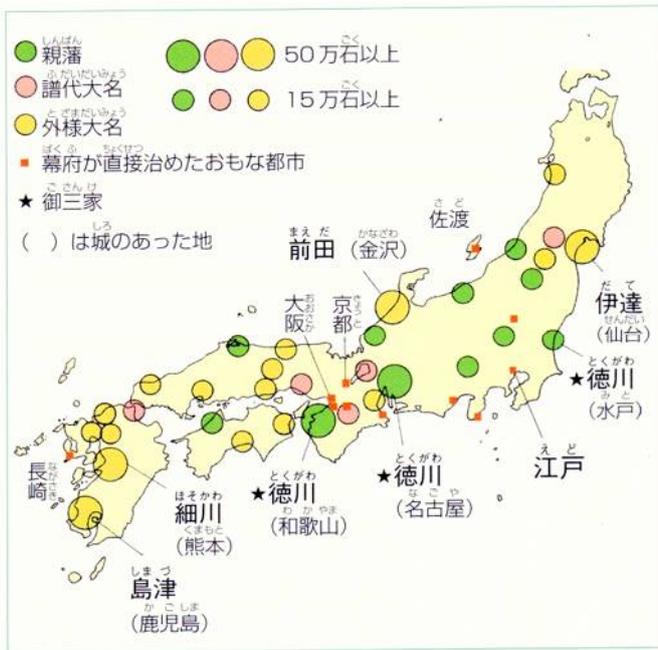
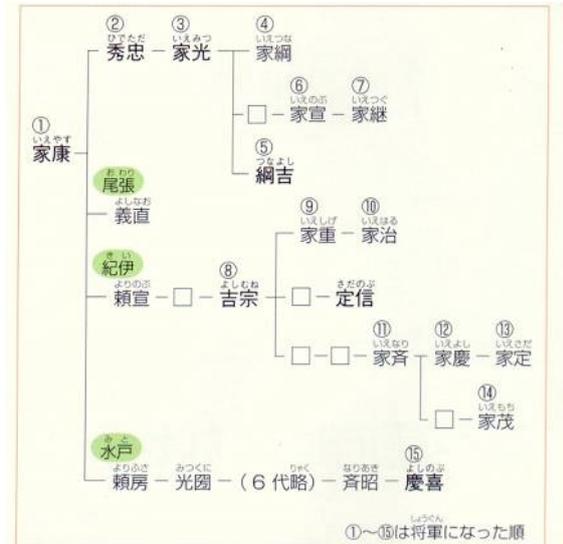
徳川幕府のしくみ



幕府の実権は将軍がにぎり、その下に(5…漢字で)の役職がおかれ、その下で大目付や町奉行・勘定奉行が政治を行なうしくみです。家康は2年後に息子の(6…徳川?)で)に将軍職をゆずり、以後は徳川家が代々の将軍になることを大名たちに示します。大名とは将軍から1万石以上の領地をあたえられた家来のことです。そして、その領地とそこを治めるしくみを藩といいます。

さらに、徳川一家一族の大名を(7...?藩)といい、尾張(名古屋)・(8...今の和歌山県)・水戸(茨城県)の御三家から次の将軍が選ばれるしくみになっています。

また、幕府は、関ヶ原の戦いより前からの家臣(家来)たちを(9...?大名)とし、関ヶ原の戦いの後に徳川に従った大名は(10...?大名)と、大名たちを区別しています。

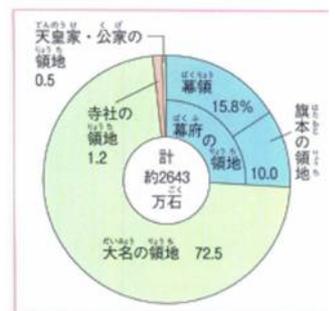


地図を見て分かることを「譜代大名は・・・、外様大名は・・・。」のように答えなさい。…(記述 2)

また、将軍に直接仕え、将軍と顔を合わせることを許された特別あつかいの家来たちを(11...漢字で)といいます。

幕府は、こうした(11)や御家人を中心に「(11)八万騎」とよばれる強力な軍事力をもっていました。

右のグラフは江戸時代中ごろの領地の割合を表しています。幕府の領地だけで全国の土地の4分の1もあります。また、この中で、旗本の領地が(12...数字)%で、大名たちの領地は約(13...数字)%です。そして、(14...人名)が3代将軍になったころに、こうした幕府のしくみが完成しています。



江戸時代中ごろの領地



おもな鉱山

さらに、幕府は江戸や京都・大阪・長崎などの重要な都市も直接支配

していました。そして、(15...新潟県の?金山)、世界遺産の(16...島根県の?銀山)や生野銀山(兵庫県)、足尾銅山(栃木県)や別子銅山(愛媛県)などの鉱山も直接支配して、貨幣をつくる権限ももっていました。

江戸時代前期の最盛期には、日本が世界の銀の三分の一を産出していたといわれています。

銀座...金貨を製造した場所。家康が江戸で小判を作らせたのが始まり(1595)。

やがて江戸1カ所になります。現在は日本銀行の本店が建っています。

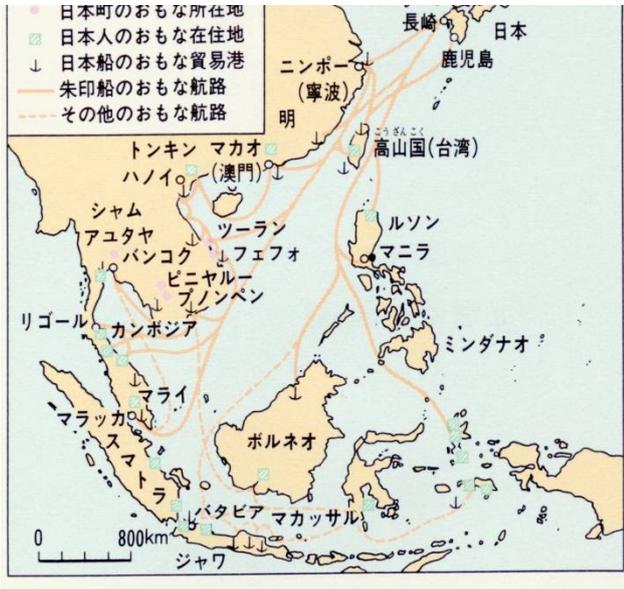
銀座...銀貨を製造した場所。これも、やがて江戸1カ所になります。右は家康が

1636年から全国の銭座で作らせた(17...現在の漢字4字で)という貨幣です。

幕府が重要な都市を直接治めた理由を「政治や経済の面で・・・。」の書き出しでまとめなさい。…(記述 3)



このように、家康は強力な軍事力を持ち、大名や朝廷・寺社・農民などを支配しました。これらのことから幕府体制が長く続いた理由が分かりますが、家康はさらにある制度を定めています。その制度とは、秀吉の検地や刀狩によって土台がつくられたものです。このことを「・・・制度。」のかたちで答えなさい。…(記述4)



朱印船



家康が出した(18)



また、家康は経済力を強めるため、利益の多い外国との貿易にも力を入れています。家康が貿易を許可した印の(18…?)をもった朱印船が、シャム(現在のタイ)やカンボジアなどの東南アジアの各地に出かけ、東南アジアの各地に日本人の住む(19…?町)ができています。

このとき、シャム(今のタイ国)で活躍して、国王の信頼を得た人物に(20…右の人物名)がいます。こうした貿易を(21…?貿易)といい、やがて幕府は、貿易による利益も独占し、経済力と強力な軍事力で、大名や朝廷・寺社・農民を支配し、土農工商の身分制度も定め、幕府の土台を固めていきました。



豊臣の滅亡

1614年、大阪城に立てこもる豊臣方の残党との戦いの大阪(22)の陣がおこり、翌1615年の大阪(23)の陣で豊臣秀頼とその母の淀君(浅井長政の娘の茶々)で豊臣秀吉の側室)が自害し、豊臣は滅亡しました。

徳川幕府とキリスト教

1605年、徳川家康の子の(6…徳川?)で)が2代将軍になり、キリスト教を禁止しました。この令は明治政府が太陽暦を取り入れる1873年までの約260年間も続きます。なぜ、幕府はキリスト教の禁止令を出したのかを「キリスト教が・・・ため、幕府の・・・。」…(記述5)と「布教を通じて・・・を恐れたため。」…(記述6)のかたちで2つ答えなさい。

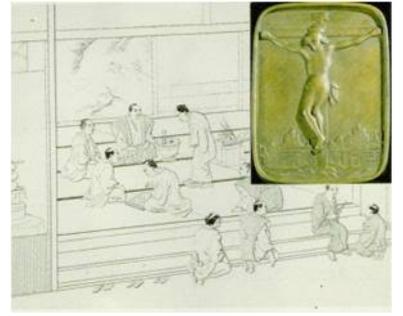
1623年、徳川秀忠の次男の徳川家光が3代将軍になります。家光の母は、浅井長政の娘で織田信長の姪にあたる江です。そして、家光は1624年にキリスト教の布教に特に熱心だった(24…外国名)船の来航を禁止します。

この国がキリスト教の力で未開発の国々を植民地支配していたためです。



(25…年)、踏絵は絵の具の16が29

キリスト教の禁止を徹底するために、長崎でキリシタンを取り締まるための(26…キリストの絵のことをいう)が始まりました。キリスト教の信者(キリシタン)たちは、キリストをえがいた絵を踏むことができない人の心理をうまく利用して、キリシタンを見抜いて捕まえたのです。



外国行けぬ、こうなりや16<35(密航)だ

1635年には、日本人の海外渡航と帰国も禁止されています。このとき、幕府が日本人の海外渡航と帰国を禁止した理由として考えられることを答えなさい。…(記述7)

(27…年) 四郎16、37と一緒に島原へ

キリシタン大名が治めていた長崎県の島原や熊本県の天草はキリシタンが多い地でした。ここを治める大名が代わり、その大名が重税をかけてキリシタンをきびしく取りしまったため、島原・天草一揆がおこります。約3万7000人の農民たちは、16歳の少年の

(28…人名を漢字で)を頭に島原の原城にたてこもりました。幕府は約12万の大軍をさしむけ、さらにオランダの軍艦にも砲撃をたのみ、4ヶ月もかけてやっとしずめます。そして、このあとの幕府はキリシタンの取りしまりをさらにきびしくし、すべての者がお寺の檀家(一定の寺に属すること)になることを強制する(29…漢字で?制度)をもうけます。



(30…年)、いろ1639ポルトガル

スペインに次いで、(31…外国名)船の来航も禁止されます。このように外国との付き合いを制限することを(32)といいますが、これによって幕府の支配が固められ、日本独自の文化が生まれています。

外交(外国とのつきあい)



アイヌの人々は、樺太を経由して大陸の人々と交易を行っていました。左は蝦夷地にもたらされた中国製の絹織物です。

1604年、幕府が(33…?藩)の蝦夷地(今の北海道)でのアイヌとの交易を認めます。

しかし、この藩があくどい方法で交易を行なったため、後の1669年にアイヌの酋長の(34…人名)との(34)の戦いがおきます。

そして、同年、(33)は蝦夷地を支配しました。





1607年、豊臣秀吉の出兵以来、途絶えていた(35…外国名)と国交が回復しています。この国との貿易は九州の(36…?藩)が、朝鮮半島の釜山まで出向くという形で行われています。この国が江戸時代に日本が正式な国交を結んだただ一つの国です。3代将軍のときからは、将軍が代わるごとにこの外国から(35)通信使という使節団が、あいさつのために江戸までくるようになり、400～500名の人数で12回も来日しています。また、同じ1607年には、オランダが長崎県の(37…地名)に商館を開いています。

1609年、秀吉の朝鮮侵略に協力しなかったことを理由に、薩摩藩(鹿児島県)が沖縄の(38…?王国)を征服しました。そして、この国の検地を行ない、当時的高级品であった砂糖や布を薩摩藩に税として納めさせています。



また、この国も将軍や琉球の国王が代わるごとに、江戸に使節を送らなければなりません。右がそのときのような、琉球の一行に中国風の髪型や服装をさせています。このようなことさせた幕府のねらいを答えなさい。…(記述 8)

1634年、幕府は長崎に(39…地名)を築き、この地だけで貿易を行ってその利益を独占します。乾燥させたアワビやナマコ、フカヒレなどを俵につめて輸出しています。



長崎のようす

1641年には(40…外国名)商館を平戸からこの地に移しています。このとき、オランダが日本との取引を許された理由をスペインやポルトガルとの違いから説明しなさい。…(記述 9)

まとめ この時代に日本と取引のあった外国は、(40)と正式な国交はなかった中国王朝の(41…明がほろびた後の王朝名)と、日本と正式に国交を結んだ朝鮮(李氏朝鮮)の3つです。

中国とは唐人屋敷で貿易を行ないました。唐人屋敷とは長崎の町の1区画に來航した中国人たちを住ませた地域のことで、また、ヨーロッパの(40)が日本との取引を許されたのは、この国がキリスト教の布教をしなかったことと、幕府が外国の情報を手に入れるためであったと考えられています。世界の動きから取り残されたように見えた幕府ですが、実際には世界の情報をもっていました。(40)の商館が長崎に來航したときに『(40)風説書』という書物を幕府に提出していたのです。この書物を見ることのできる人は限られていましたが、江戸時代の終わりごろには、各藩に世界の情報が広まっていき、各地でいろいろな動きがおこります。

大名を支配

1615年、**秀忠の大名統制、いろ1615**い。…チョツとなまりが

豊臣氏を滅亡させた大阪夏の陣がおきた年、2代将軍が(42…漢字で)を制定して大名たちを支配します。朝廷に対しては(43…漢字で)というきまりで、京都に置いた(44…役所名)に命じて監視しています。

(42)の一部

- 一 大名は学問と武芸にはげむこと。
- 一 ①大名は毎年4月に(45)をすること。…3代将軍が1635年に加えた。
- 一 許可なく城を修理したり、新しい城をつくったりしてはならない。
- 一 ②大名は勝手に結婚してはならない。
- 一 五百石(約140㎡=10m×2m×7m)以上の(46…当時の輸送手段に使ったもの)をつくってはならない。…当時は武器などの重いものはすべて(46)で運びます。

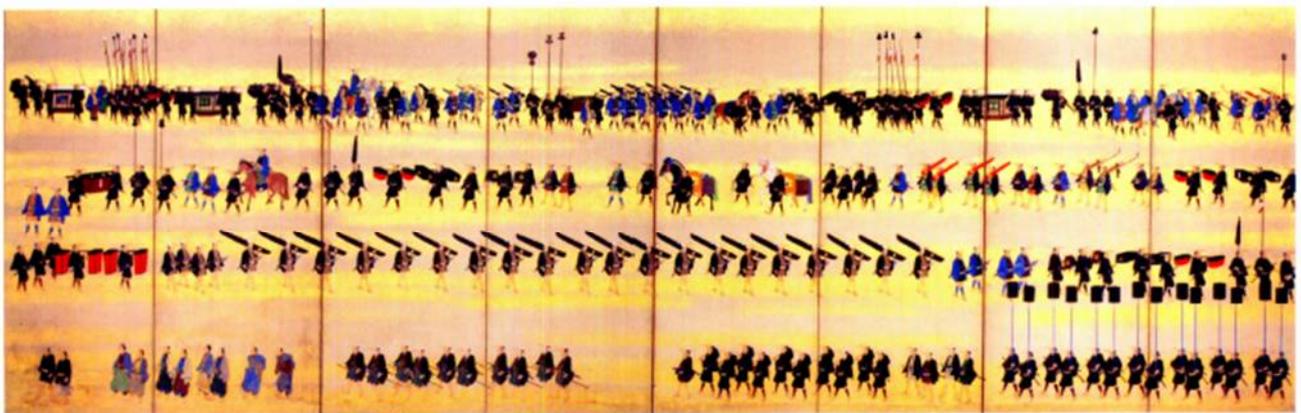
1635年、**家光が、1年は江戸に16よと、3勤5代**…ここもなまる

徳川家光は自分が3代将軍になったときに、下のようなことばを残したといわれています。



わたしの祖父や父は、もとはみなと同じ大名であった。しかし、わたしは生まれながらの(47)だから、みなを家来として扱う。

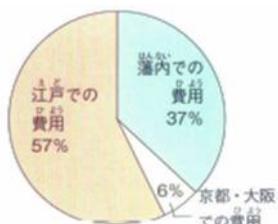
そして、徳川家光は武家諸法度の中に(45…漢字で)の制度を付け加えます。大名は(48)年ごとに江戸と自分の領地に住み、妻子は人質として江戸に残すことという制度です。



加賀藩(石川県と富山県の一部など)の大名行列

ここから、徳川家光が定めた参勤交代の制度は何を目的としたものと考えられますか。「将軍と大名が・・・」のかたちで答えなさい。…(記述 10)

取手市にある本陣



大名は、敵と戦う(奉公)の準備をし、槍や鉄砲をたずさえて移動しました。石高が最も高い加賀前田家では、2000人以上が13日もかけて、金沢と江戸の間を移動しています。



途中の宿場では、(49…漢字で)という大きな宿泊所(宿)に泊まります。

また、大名たちは江戸城の近くに滞在するための上屋敷をもちます。ほかに、隠居した前の藩主などが暮らす中屋敷や、江戸郊外に下屋敷をもつ大名もいました。現在の東京大学の赤門は、加賀藩の上屋敷の跡地に建てられています。しかし、大名にとって、これらの屋敷を維持する費用は大変な負担になったのです。これらのことから、参勤交代の制度によって、大名たちの立場がどのように変化していったかを答えなさい。…(記述 11)

さらに、大名の結婚には幕府の許しが必要な理由を答えなさい。…(記述 12)



東京大学の赤門

農民たちを支配

1619 2代将軍が五戸一組で共同責任を負わせる(50…?組)の制度で農民たちを支配します。農民や町民に、キリシタンの取りしまりや年貢の納入などに連帯責任を負わせる制度です。一人でも守らない者が出たときは、五人全員が同じ罪になるというきびしいもので、そのためにおたがいが監視しあうようになる巧妙なしくみです。

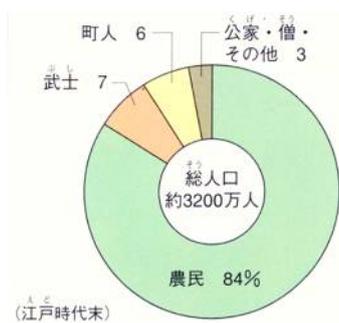
また、ある藩では下のようなきまりで農民を支配しています。



- 一 朝は早く起きて草をかり、昼は田畑を耕し、夜はなわをない俵を編み油断なく仕事にはげめ。
 - 一 できるだけ麦・あわ・ひえなどの雑穀などを食べ、米を多く食べないようにすること。
 - 一 着物は(51…素材)や木綿以外は使ってはならない。
- 年貢さえすませてしまえば 百姓 ほど気楽なものはないのだから。このことを子どもや孫たちによく申し伝えよ。

なぜ、このようにきびしいきまりで農民たちを支配したのかを「藩や幕府の財政は・・・ため。」のかたちで答えなさい。…(記述 13)

また、このころの年貢は、収穫した米の4割を納める(52…?公?民)というものです。



さらに、この時代は総人口の約(53…概数で)%が百姓とよばれる農民です。林業や漁業などに従事する人たちも百姓とよばれていました。



さらに、農民は土地を持つ本百姓と、土地を借りて農業を行なう(54…?百姓)に区分され、本百姓の中から(55…関西では庄屋という役職)・組頭・百姓代の村役人が選ばれ、役人の指示を受けて村を治めています。

さらに、村にはなかまのきまりを破ると、村中の人たちから相手にされなくなる(56…漢字で)などのきびしいおきてがありました。

武士には支配者として苗字や刀をもつことをいう(57…漢字で)や町民などを切り殺しても罪にならない「切り捨て御免」などの特権が与えられていました。

また、(58…?民)とよばれた職人や商人の税の負担は農民よりも軽く、取りしまりもゆるやかだったため、やがて町民は経済文化の中心的な担い手になっていきます。



1643年には、3代将軍が(59…?令)を制定しています。これは、本百姓が田畑を売買することや農民がよその土地に移ること、米以外の作物を作ることを禁止したものです。苦しい生活から逃げ、江戸などに出て、農民よりも税の負担が軽くて取りしまりもゆるやかな町民になる農民たちが増え、米の収穫が減ったことがあると考えられています。

参考

4代将軍徳川家綱のときの1670年、新田開発やかんばつに苦しむ農民を救うために、芦ノ湖の水を静岡県へ流す箱根用水が完成しています。この用水は1666年から約4年の歳月をかけて掘られたトンネルで、全長1,280mに及び、出会いに1m程の誤差しかなかったと言われ、当時の測量技術の精度の高さに驚かされます。

